

仙美里発！北海道立農業大学校 Campus通信 No.42

前期を振り返り、農大の魅力をダイジェストで紹介！

農大祭・体育祭



【大盛況の一般公開】



【腕相撲大会】

7月2日～3日の2日間、「全力で肥えろ」をテーマに第43回農大祭を開催しました。1日目は体育祭でしたが、悪天候のため屋内競技となりました。2日目の一般公開は、一転快晴となり、焼き肉、カラオケ大会や農大OGが代表を務める農業女子ネットワーク「はらぺ娘」の皆さんのコラボイベント等に、来場された地域の皆さんも一緒に盛り上がり、大盛況のうちに終了することができました。準備・運営に当たった実行委員の皆さんお疲れ様でした。



【特別参加はらぺ娘】



【体育祭】

農大行事フォトアルバム

4月



入校式 4月7日



【入校生代表宣誓】



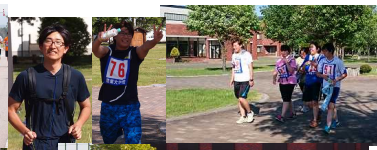
【入校生】



【在校生代表歓迎の言葉】

5月...

競歩大会 5月27日



【32.195km 今年もいろいろな思い出を身体にきざみこみました】

7月

知事訪問 7月12日



【知事が訪問され学生と交流しました。】

8月

オープンキャンパス 7月29日 8月20日



【学生が参加した方々を施設等にご案内し、説明や体験作業を行いました。】

学科トピックス

畜産経営学科



【応用先進農業機械学演習】
1年生はヤマアグリジャパン㈱で自動操舵実演機を使ったデモンストレーションを体験しました。



【本別町家畜品評会】
肉牛管理部が黒毛和種育成牛「くにかつはや」号を出展しました。



【直腸検査実習】
家畜人工授精師講習会で直腸検査実習を行いました。

畑作園芸経営学科



【野菜即売会】
実習で栽培した野菜などを販売し、農産物の販売ノウハウを学びました。



【ばれいしょ収穫実習】
学生が収穫を通じて、規格内品と外品の選別を体験しました。



【機械操作実習】
校外学習の一環としてトラクタ販売会社実演ほ場で最新の機械事情と操作調整方法を学びました。

農業経営研究科



【先進地視察】
北広島市谷口農場において「農福連携」の取組を調査しました。



【新商品の販売実践】
「ほんべつ肉まつり」で新商品「白花豆アイス」の販売やストリングチーズの試食をしました。



【経営研修 in 東京】
全国各地の農業を志す仲間と討論等で交流を深めました。

農大に入校して



畜産経営学科1年
坂本夏紀(埼玉県出身)

私が農業大学校に入学してから5ヶ月の中で、様々なお話を聞いたり、実習したりし、多くのことを経験しました。「北海道で酪農をする」という夢を叶えるために、より専門的な知識、実践的な技術を身につけることのできる農大に入学しました。不安でいっぱいだった初めての寮生活にも慣れ、充実した学校生活を過ごしています。授業では、牛や飼料などの知識を学ぶことができ、良い雰囲気の中で学習しています。また、実習では、機械作業が多く、自ら積極的に機械に乗り、早く操作を覚えられるようにしています。牛に接することも多く、班員と協力しながら、より質の高い実習にするために楽しく取り組んでいます。8月の下旬から1ヶ月間の体験学習に行きます。期待と不安がありますが、農家さんからより多くのことを吸収し、一回りも二回りも大きく成長して学校に戻ってこれるように、そして卒業後のためにもこの2年間を無駄にせず取り組みたいです。



畑作園芸経営学科1年
島田 翼(大樹町出身)

私が農業大学校に入学して、5ヶ月が経過しました。授業や初めての寮生活にも慣れてきました。自家は大樹町で酪農を営んでいますが、私は畑作に興味があり、畑作園芸経営学科に入校しました。入校当初は授業や専攻実習でわからない用語が飛び交い、これから農大でやっていけるか不安でした。その後、授業の中で少しずつ用語を覚え、現在は来年のプロジェクト(秋まき小麦の品種比較)について考えているところです。8月29日から9月27日までの約1ヶ月間の先進農家体験学習では、実際に畑作を営んでいる農家さんのところで様々なことを学びたいです。この体験学習は今後のプロジェクトや就農後の経営の参考となると思うので、積極的に活動したいと思います。体験学習後も授業や実習を積極的に行い、人とのつながりを大切にして、有意義な学校生活を過ごしたいと思います。



農業経営研究科1年
平石留偉(室蘭市出身)

私は養成課程の畑作園芸経営学科を卒業して、農業経営研究科に進学しました。研究科には学生自ら課題を設定して取り組む「総合実習」という科目があり、私の場合、有機栽培、特別栽培について勉強しています。これまでの活動では、北海道各地の有機農家への視察、意見交流会、研修等へ参加していて、有機農業の人脈を広めつつ、有機栽培の難しさやそれぞれの工夫を聞くことができ、とても充実しています。

研究科では、自分の研究課題次第で道外への視察・研修も行くことができます。養成課程とは違った、面白さ、自由さが研究科にはあるので、興味のある方は研究科まで連絡ください。



稲作専攻コース1年
馬場勝五(深川市出身)

私たちが稲作経営専攻コースに入学して早くも半年がたちました。今年の稲作コースは10人で、仲良く協力をしながら農大、拓大のカリキュラムをこなしています。拓殖大学では、作物の基礎を学んでいます。農業大学校では、夏期休業中に集中講義として、農業簿記や機械研修を学び、滝川市の花・野菜技術センターでは、農業経営についてその知識を学びました。この3週間という集中講義の中で、10人一緒に生活をしたため、親交を深め、かけがえのない夏休みを過ごすことができました。今年入学した人の中には稲作をやっていない人も多少いますが、稲作のことについて知っていくうちに、将来稲作をやりたいという気持ちも持ち始めています。あと1年半という短い期間ですが、これからも10人という人数で、お互いに協力し、自分の将来に向け充実した大学生活を過ごしていきたいです。